
暗い部屋

境康隆

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

暗い部屋

【NZコード】

N8347P

【作者名】

境康隆

【あらすじ】

僕は暗い部屋に閉じ込められた。あの大人の男の人人が悪い奴に違いない

僕はいつたいてどうしたんだろう?

ここは何でこんなに暗いんだろう?

思い出せない。ついこの間まで皆で楽しく遊んでいたはずなのに、今は何でこんなに暗く静かなんだろう。

真つ暗だ。光がまるで差し込んでこない。

あの楽しい遊び部屋とまるで正反対。あそこは光と声と笑顔で溢れていた。

ここはとても暗い部屋だ。まるで棺桶だ。暗く冷たい。

あの子は元気だらうか。僕と遊んでくれたあの子。

僕は毎日毎日あの子と遊んだ。毎日だ。

毎日笑い声に包まれて僕は色んな遊びをあの子としたんだ。

一番好きな遊びは、ここ遊びだった。誰かになり切って、何々ごっこをするのがあの子は好きだった。

勿論僕も大好きだつた。僕は色んな誰かになり切つた。
お巡りさんになつたこともあつた。お父さんになつたこともあつた。お医者さんになつたこともあつた。

その度にあの子は笑つてくれた。

もうあの子は遊んでくれないのだろうか?

あの子は姿を見せない。

代わりに見えるのは何処までも暗いこの部屋。いつもならこの暗い部屋に帰つても、すぐあの子が迎えにきてくれたんだ。

あの子はおやすみつて言つて僕と別れ、おはようつて言つて僕に会いにきてくれた。

だからこの暗闇を怖いと思つたことなんて一度もなかつたんだ。
でも今は怖い。こんなに長いこと、あの子が会いにきてくれないなんてなかつたからだ。

あの子はやっぱり姿を見せない。いつしか声も聞こえなくなつた。

その代わり、入れ替わるように何処からともなく聞こえてきたのは大人の声だ。遠くから聞こえる大人の声。時に苛立たしげに聞こえる大人の声。

この声の主があの子を隠したに違いない。僕をここに閉じ込めたに違いない。

僕はいつしかそう思つようになった。

だつてこの声の主はとても苛立つていてるように思えたもの。何かに疲れている。何かに苛立つている。何かに怯えている。何かを失ったのにそれが何かす分からない。そんな不安な気持ちがその遠い声から伝わってくる。

そしてその苛立ちを周囲にぶつけていく。

悪い人だ。

やつぱりこいつがあの子をどうかしてしまったのに違いない。僕が本当にお巡りさんなら、この悪い人をやつつけてやるのに。僕が本当にお父さんなら、この悪い人からあの子を守つてあげるのに。

僕が本当にお医者さんなら、この悪い人を

そんなことを思つていると、暗い部屋に光がすっと差した。

「まだあつたんだな」

僕は光溢れる部屋の中で、大人の男の人を持ち上げられた。こいつだ。この声だ。

さあ、かかつてこい。僕はお巡りさんだぞ。悪い奴は懲らしめてやるぞ。それがお巡りさんだからな。

あの子は何処だ？ 僕はお父さんだぞ。悪い奴からあの子を守るぞ。それがお父さんだからな。

それとも何処か悪いのか？ 僕はお医者さんだぞ。悪い奴でも怪我なら見てやるぞ。それがお医者さんだからな。

僕ならどれでもできる。だつて僕はあの子と沢山のままに遊びをしたからだ。

「……」

大人の男の人は僕をじつと見つめた。

「ほら」

そう言つて大人の男の人は、僕を見知らぬ子供に手渡した。
その子はあの子に似ているようで、何処か少し違う子だつた。
この子は僕を早速消防士さんにしてくれた。僕とあの子が大好き
だつたごっこ遊びだ。

「そんな。古いのでいいのか？ 僕の子供の頃の遊び相手だぞ」「
大人の男の人はもう苛立つた声をしていなかつた。
そして僕とこの子のごっこ遊びを、懐かしげにいつまでも見守つ
てくれた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8347p/>

暗い部屋

2011年1月16日05時35分発行